

Firefox、Opera、Safari、乗り換えるならどれ？

IE 対最新ブラウザ 徹底比較

text:水野貴明

ページが表示されました

インターネット

IEを使っていて本当にいいのですか？

ウェブブラウザで最も広く利用されているのが、マイクロソフトのインターネットエクスプローラ (IE) だ。シェアは90%以上と言われていて独占状態だ。これほど広く利用されているのは、多くの人ウィンドウズを使用していて、ウィンドウズに標準で搭載されているブラウザがIEだからにほかならない。そしてIEを使っている人の多くは何の問題も感じておらず、特に乗り換える必要はないと思っている人が多いだろう。だが、本当にそうだろうか？

残念ながらIEにはいくつもの問題点がある。最大の問題は、セキュリティホール、つまりプログラム上の欠陥を攻撃される可能性が高いことだ。流行したウイルスの多くがIEの脆弱性を利用して感染する。次に、CSS (スタイルシート) の解釈が標準仕様に従っていない点がある。多くのウェブページは、IEのユーザー数が多いために「正しくない」仕様に合わせて作られており、ユーザーからすれば別段不便を感じない。しかし、制作側では標準とIE向けの両方に対応しなければならないため、作成コストが上昇する。そしてこのコストは、さまざまな形で利用者にも跳ね返

ってくるのだ。最後に、IEはブラウザとしてすでに古いのだ。2001年9月にIEバージョン6が発表されて以降、3年以上にわたって新機能が追加されていない。その間に他のブラウザは、より便利に、より快適に利用するための工夫を行ってきた。その結果、IEは機能的にはかなり後進的なブラウザになっている。これはかなり厳しいポイントだ。

では乗り換えるならどれがいいのか？

これでもまだあなたにはIEを利用する理由が残っているだろうか。ずっとIEを使い続け、これまで他のブラウザを一度も試したことがないのなら、これを機会にブラウザを替えてみてはいかがだろうか。

この記事では、IEからの乗り換え候補となりうる5種類の最新ブラウザを紹介

IEだと困る5つの理由

- ・セキュリティホールが狙われやすい
- ・新しい機能の追加がない
- ・クラッシュするとOSを巻き込みやすい
- ・タブに対応していない
- ・CSSの解釈がおかしい

している。すべて無償で利用できるもので、まずはいろいろなものを試してみて、自分にぴったりのものを見つけてほしい。

主な機能の説明

タブ機能

表示領域をタブで切り替えられるか (詳しくは103ページ)

マウスジェスチャー

一定の方法でマウスカーソルを動かすことでブラウザを操作できるか

ポップアップブロック機能

ポップアップウィンドウを抑止できるか

JavaScriptのオン/オフ

JavaScriptのオン/オフを切り替えられるか

ユーザーエージェントの変更

ウェブサーバーに送るブラウザの名称を変更できるか

ツールバーのカスタマイズ

ツールバーに表示するアイコンの種類や大きさを換えられるか

プロファイル管理機能

複数のユーザー設定を作れて、その変更や削除が可能か

クッキーの管理

ブラウザが保存したクッキーを個別に削除できるか

パスワード管理

制限の掛かっているウェブサイトに対するパスワードの入力補助機能があるか

RSS対応

RSSを取得してウェブサイトの更新情報を知ることができるか



公開初日に100万本もダウンロードされた注目のブラウザ

Firefox

ファイアーフォックス

URL <http://www.mozilla-japan.org/products/firefox/>

ココが、ココが×

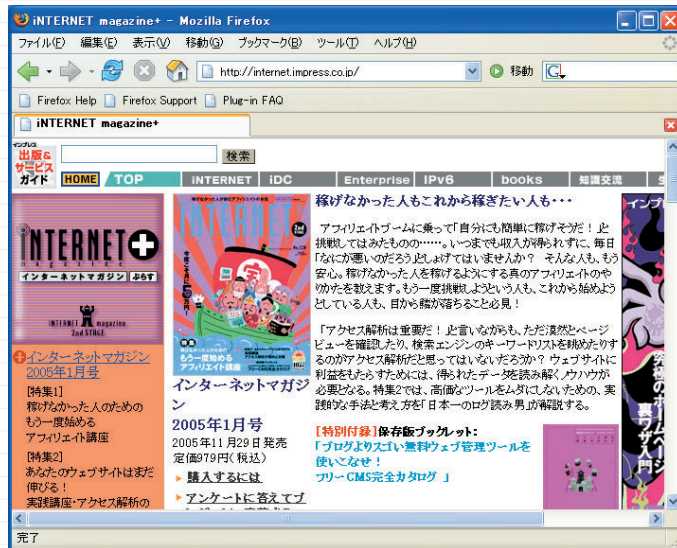
攻撃対象になることが少なく安全性が高い
HTML/CSSの解釈が標準仕様に近い
他のブラウザよりも動作が軽く快適

IE専用ページでは表示が崩れることがある
多くのページを開いていくうちに不安定になる

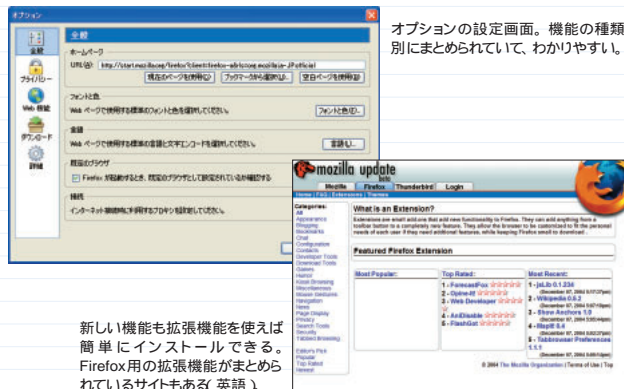
Firefoxは、IEからの乗り換え先の大本命として最も注目されている、2004年11月に正式公開版としてバージョン1.0がリリースされたばかりの最新ブラウザだ。Mozillaをベースにブラウザ機能だけを取り出し、軽量化をはじめとする改良を加えたもので、ウェブページの表示にはオープンソースで開発されているGeckoエンジンを搭載している。

見た目こそシンプルだが機能は豊富で、タブブラウジング機能やテーマの切り替え、RSSを取り込んで更新状態をブックマークに表示する「ライブブックマーク」、ポップアップ広告の抑止機能など、ウェブブラウジングを快適にするための工夫もたくさん盛り込まれている。

設定画面は、アイコンで機能別に整理されているので見やすく、ブックマークの整理も直観的でわかりやすい。基本的なウェブブラウジングの操作はIEとよく似ているので、初心者でも迷うことなく操作できるだろう。



画面はシンプルで、ウェブページの表示領域が他のブラウザよりも大きく取られているのが特徴。IEと異なるのは、グーグルの検索窓が標準であるのと、表示領域の切り替えタブがある点。



オプションの設定画面。機能の種類別にまとめられていて、わかりやすい。

新しい機能も拡張機能を使えば簡単にインストールできる。Firefox用の拡張機能がまとめられているサイトもある(英語)

主な機能の有無

タブ機能	
マウスジェスチャー	×
ポップアップブロック機能	
JavaScriptのオン/オフ	
ユーザーエージェントの変更	×
ツールバーのカスタマイズ	
プロファイル管理機能	
クッキーの管理	
パスワード管理	
RSS対応	

テーマの切り替えとは？

MozillaやFirefox、Operaには、「テーマを切り替える」機能が搭載されている。テーマとは、「戻る」「リロード」といったツールバーのボタンやその背景など、ウェブページが表示されている部分以外の、意匠や見た目を変更する機能のことだ。テーマを切り替えることで、ブラウザを木目調にしたり、ほかのブラウザそっくりに見せかけたりできるなど、自分好みに変えられる。「テーマ」は、作成方法が公開されており、オリジナルのテーマを作成したり、作成したテーマを公開して多くの人に使うてもらったりもできる。



Firefox用のテーマの例。上の標準状態の画像と見比べてほしい。テーマは、メニューの「ツール」[テーマ]を選ぶと、テーマ変更ツールが開き、そこでテーマを選んだり、ダウンロードページに移動したりできる。



世界最速の表示速度をうたう北欧生まれのブラウザー

Opera

オペラ

URL <http://jp.opera.com/>

ココが、ココが×

ウェブページの表示速度が非常に高速
どこまでも自分流にできるカスタマイズ性
ページは子ウィンドウとしても表示可

一部だがCSSの解釈に互換性がない
JavaScriptの互換性が低くて動作しないことがある
無償で利用する場合は広告が表示される

ルウェーのOpera社によって開発され、日本ではライブドアが代理店を務める。有償版と無償版があり、無償版はツールバーに広告が表示されてしまう。

最大の特徴は、独自に開発したHTMLのレンダリングエンジンだ。「世界最速のブラウザー」を名乗っているとおり、サイズの大きなページでも比較的高速に表示できる。また、異常なほどのカスタマイズ性の高さも特徴だ。スキン(テーマ)の変更やツールバーのカスタマイズはもちろん、タブの開き方やマウスジェスチャーといった操作性にかかわる機能まで徹底的にカスタマイズでき、ユーザーによってはまったく違うブラウザーのようにもなっていることもある。

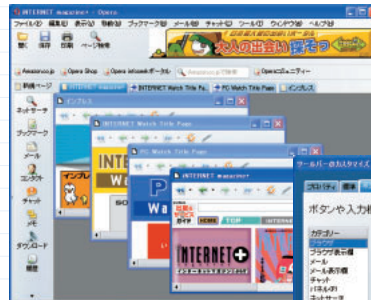
ただし、独自のレンダリングエンジンを採用した弊害としてHTML/CSSやJavaScriptの互換性が低く、IEでの利用を前提としたページが正しく表示されない場合がままあるため、IEなどほかのブラウザーと併用する人も多いようだ。

主な機能の有無

タブ機能	
マウスジェスチャー	
ポップアップブロック機能	
JavaScriptのオン/オフ	
ユーザーエージェントの変更	
ツールバーのカスタマイズ	
プロファイル管理機能	×
クッキーの管理	
パスワード管理	
RSS対応	



標準の状態では画面はさまざまな機能が詰め込まれていて、かなりごちゃごちゃした画面だが、表示するアイコンの種類や位置は自由に変更できる。右上の広告は、有償ライセンスを購入すれば表示されなくなる。



表示領域は一般的なタブとしてだけでなく、Operaの画面の中で子ウィンドウとしても扱える。

ツールバーや各種機能のパネルなど膨大な数の設定項目があり、一見ではOperaとはわからないほどのカスタマイズも可能だ。

ケータイにも高機能ブラウザーの波が

インターネットへのアクセス手段として、今や携帯電話は無視できないものになってきている。これまでは、画面サイズなどのハードウェア的な制約や通信料金を抑えるために、携帯向けに作られたサイトを簡易ブラウザーで見るのが、当たり前だった。しかし、ハードウェアの発達と定額料金制の普及に伴い、携帯電話からPC向けのウェブサイトを普通に利用できる環境が整いつつある。京セラが開発してDDIポケットから発売されたPHS「AH-K3001V」は、この記事でも紹介しているOperaを搭載している。ウェブページ

を携帯電話の画面幅に合わせて最適化し、小さな画面でもパソコンと同じような感覚でウェブページを表示できる技術を搭載しているのでユーザーに強く支持された。また、NTTドコモのFOMA 900iシリーズやAUのEZアプリ対応端末など最新機種でもJAVAアプリケーションとしてダウンロードして利用できるフルブラウザー「jigブラウザー」URLも発売されている。こちららも、PC向けのウェブサイトを携帯電話で見やすくするために工夫が凝らされた高機能ブラウザーだ。

URL <http://jig.jp/>



ウェブページ作成機能も併せ持つ玄人好みのインターネット統合ソフト

Mozilla

モジラ

<http://www.mozilla-japan.org/products/mozilla1.x/>

ココが、ココが×

ブラウザやメールなどをオールインワン
HTML/CSSの解釈が標準仕様に近い
バージョンアップの間隔が短い

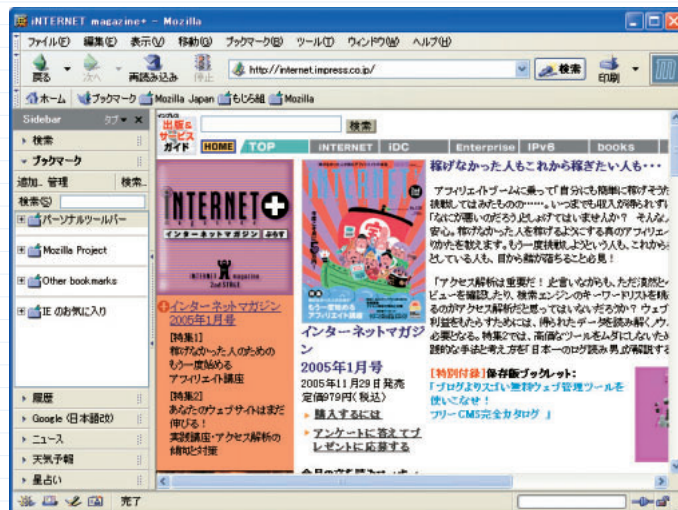
標準のデザイン(テーマ)が古くさい
IE専用ページでは表示が崩れることがある
メモリーの使用量が多くなる傾向がある

Mozillaはブラウザだけでなく、メール/ニュースリーダーやIRCクライアント、HTMLエディターなどのインターネットでよく利用する機能をすべて備えた統合ソフトだ。Netscape社が1998年にブラウザの独自開発をあきらめて公開したソースコードを、オープンソースコミュニティが引き継いで開発し続けたという経緯がある。

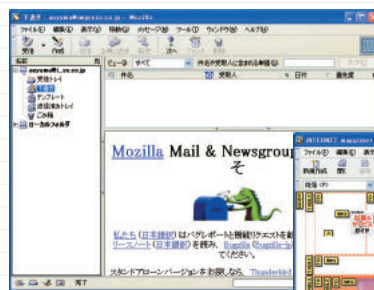
Firefoxと同じGeckoエンジンを搭載していてセキュリティー面でも安心感があるうに、玄人好みの機能が豊富なのが特徴だ。たとえばブックマークや設定を複数用意して切り替えて使えるプロファイル機能、JavaScriptの有効/無効の切り替えやステータスバーへの表示、ウィンドウのサイズ変更など、特定の機能ごとに独立して切り替えられる。ページの表示に関する機能はFirefoxとほぼ共通なので、拡張機能を自分で入れるのがいやだが高機能なブラウザを使いたい人にはちょうどいいだろう。

主な機能の有無

タブ機能	
マウスジェスチャー	×
ポップアップブロック機能	
JavaScriptのオン/オフ	
ユーザーエージェントの変更	×
ツールバーのカスタマイズ	×
プロファイル管理機能	
クッキーの管理	
パスワード管理	
RSS対応	×

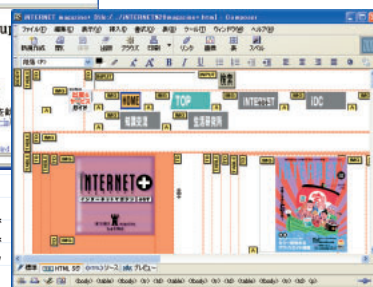


インターフェイスのデザインは非常にシンプル。標準のテーマではアイコンのデザインが、かつてのNetscape Navigatorのバージョン4以前と同じものになっている。レンダリングエンジンにGeckoを利用しているため、HTMLの表示画面はFirefoxと同じだ。



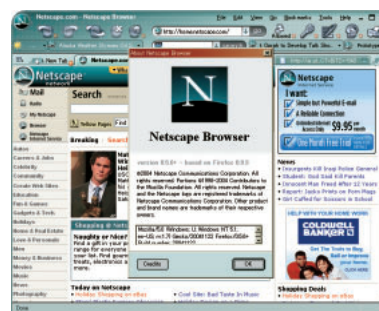
HTMLエディターはブラウザで
見ているページをそのまま編集で
き、WYSIWYG編集とHTMLソ
ース編集を自由に行き来できる。

Netscape時代から根強いファンのいるメールソフトも付いている。高機能ではないが、必要十分な機能を備えた堅実なメーラーだ。



Netscape Navigatorが再始動?

Mozillaの元となったブラウザであるNetscapeは、現在では逆にMozillaから派生したブラウザとなっている。しかし、Firefoxをベースにした次期バージョンが米Netscapeの専用フォーラムで現在ベータ版として公開され、ベータテストが行われている。新Netscape Navigatorは、HTML表示エンジンをGeckoとIEコンポーネントで切り替えられるようになっており、右クリックするだけでエンジンを簡単に切り替えられる。日本語版の公開は今のところ未定だが、一日も早い公開を期待したい。



Netscape Browser ベータ版の画面。デザインは旧バージョンから大きく変わり、ベースとなったFirefoxよりも豊富な機能が搭載されている。



Apple純正のMac OS X標準の美しきブラウザー

Safari

サファリ

URL <http://www.apple.com/jp/safari/>

ココが、ココが×

画面の表示速度がIEよりも速い
レンダリングがきれいで画面の表示が美しい
複数のMacでブックマークを共有できる

文字コードの判定精度が悪い
Mozillaなどと比べると機能が少ない



ウィンドウ上部のボタン類は文字の表示もなく、非常にシンプルだ。表示速度は、Appleによれば「IEよりも3倍高速」と言う。

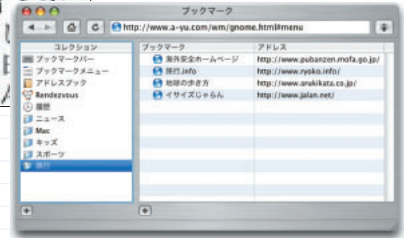
SafariはApple純正のMac OS X専用のブラウザーだ。Mac OSにはもともとIEが標準で搭載されていたが、現在はIEに代わってSafariが標準搭載されている。

ブラウザーとしては非常にシンプルで、驚くような機能はないが、アドレス帳との連携や、.Macを利用した複数のMacでのブックマークの同期などのような、OSやAppleが提供するサービスと連携した機能を持つ。

HTML表示エンジンはUNIX向けのKHTMLをベースに開発したもので、表示速度が速く、何よりもレンダリングがキレイで、文字やレイアウトのバランスなどの画面表示が美しい。また、このエンジンは他のソフトウェアからも利用できるため、IEコンポーネントブラウザーのようにSafariのエンジンを利用したより多機能なブラウザーがいくつか公開されている。気になるのは、文字コードの自動判別が不十分な点だ。ページ内に文字コードが指定されていない場合は判定を誤って、文字化けを起す頻度が高い。



アンチエイリアスの効いたテキストの表示は非常に美しい。



ごちゃごちゃしがちなブックマークの管理も、シンプルなインターフェイスで簡単にできる。

主な機能の有無

タブ機能	
マウスジェスチャー	×
ポップアップブロック機能	
JavaScriptのオン / オフ	
ユーザーエージェントの変更	×
ツールバーのカスタマイズ	×
プロファイル管理機能	×
クッキーの管理	×
パスワード管理	
RSS対応	×

IEじゃないけどIEなブラウザー？

Internet ExplorerやSafariがHTMLを解釈して画面に表示する機能「レンダリングエンジン」は、他のプログラムからも利用できる仕組みになっているため、HTML表示の機能はこれらのレンダリングエンジンを利用して、それ以外の使い勝手などを作り込んだブラウザーもいくつか作られている。中でもウィンドウ向けのIEコンポーネントを利用したブラウザーは種類が多く、「Lunaspice (103ページ)以外にもさまざまな製品が存在する。これらのブラウザーは、画面表示はIEとまったく同じでありながら、

IEにはない機能が追加されているので、より使いやすくなっている。ただし、レンダリングエンジンにIEを利用しているということは、IEが抱えるセキュリティホールが多く、そのまま引き継がれてしまうことになる。ただし、最近ではLunaspice 2.0やSleipnir [URL](http://sleipnir.pos.to/) などのように、IEエンジンとGeckoエンジンを、切り替えても使えるものも登場している。

[URL http://sleipnir.pos.to/](http://sleipnir.pos.to/)



IEとGeckoの切り替え可能な多機能タブブラウザー

Lunascape 2.0

ルナスケイブ

URL <http://www.lunascape2.com/>

ココが、ココが×

IEの比ではない機能の豊富さ
GeckoとIEエンジンが切り替え可
IE用のツールバーが使用可能

現時点で公開されているのはテスト用バージョン
設定によっては不安定になる
IEのセキュリティホールがそのまま

IEコンポーネント(エンジン)を利用したブラウザはいくつかあるが、中でも最もメジャーなものの1つが「Lunascape」だ。2005年1月にバージョン2.0が公開される予定で、2004年12月現在はプレビュー版が公開されている。

新バージョンの最大の特徴は、HTML表示エンジンにIEコンポーネントとGeckoエンジンの両方を利用できる点だ。両方のエンジンをサポートするタブ型ブラウザはこれまでもあったものの、導入が難しく、切り替えも簡単ではなかった。Lunascapeでは、メニューから選ぶだけで簡単にエンジンを切り替えられる。

それ以外にも、タブ機能やRSSの読み込み、マウスジェスチャーなどの機能はもちろんのこと、お気に入り利用頻度によって自動的に整理される機能なども用意されている。

プレビュー版での検証だったため、動作に不安な点もあったが、かなり期待できるブラウザだと言えるだろう。

主な機能の有無

タブ機能	
マウスジェスチャー	
ポップアップブロック機能	
JavaScriptのオン / オフ	
ユーザーエージェントの変更	
ツールバーのカスタマイズ	
プロファイル管理機能	×
クッキーの管理	×
パスワード管理	
RSS対応	

タブブラウザのメリット

タブブラウザでは、1つのウィンドウの中で複数のウェブページを開くことができ、それを「タブ」と呼ばれるボタンで切り替えて表示できる。今ではIEをのぞくほとんどのブラウザがタブに対応するようになった。

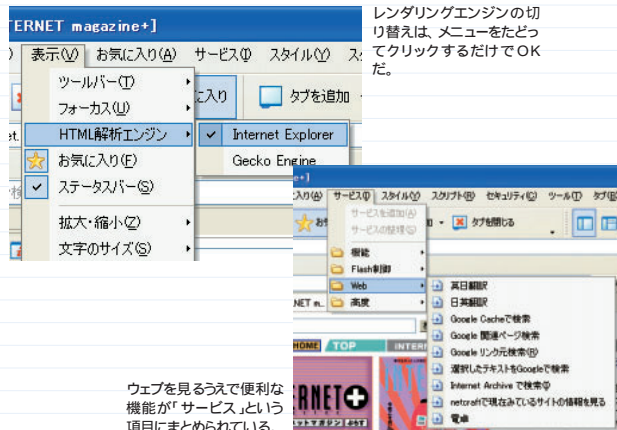
タブ機能がこれだけ普及した理由は、なんと一言で「使いやすい」ということに尽きる。たとえば、IEの場合は複数のページを開くと、ウィンドウはそれぞれ別々に開かれるので、切り替えるときはタスクバーのボタンで行うことになる。しかし、ウィンドウズXPの場合、同じアプリケーションのウィンドウが

複数立ち上がっていると、タスクバーのボタンが1つにまとめられてしまい、1クリックでウィンドウを切り替えられず、2回のクリックが必要になる。これがタブブラウザならば、1クリックで済む。

また、タブブラウザならば複数のページを開いたときでも、ウィンドウを複数開くよりも使うメモリーの量が節約できるメリットがある。最近ではPCに搭載されるメモリー容量も増えてきているが、使用メモリーが少ない方が動作は快適になるし、少ないIPCならばなおのこと大きなメリットとなる。



機能が多いため、画面がごちゃごちゃしている印象も受けるが、カスタマイズによって整理しにくい。



レンダリングエンジンの切り替えは、メニューをただクリックするだけでOKだ。

ウェブを見るうえで便利な機能が「サービス」という項目にまとめられている。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp